

ささやまっこだより

8月

平成 29 年 8 月 1 日
篠山保育園
園長 足立善一郎



8月の行事予定表

- 1日(火)ボディペインティング(ふじ組)
- 2日(水)ボディペインティング(ばら組)
- 3日(木)フィンガーペインティング(もも組)
- 5日(土)園内研究会
- 22日(火)避難訓練
- 24日(木)ぬいぐるみ病院(ばら組)
- 25日(金)誕生会

暑中お見舞い 申し上げます

園庭のあちこちからセミの鳴き声が響き渡ってきます。子ども目線で考えると「セミが鳴いて居場所を教えてくれている。居ても立っても居られない。早く捕まえなくちゃ！」と毎日思っていることでしょう。虫が好きな子どもたちにとっては、数カ月の間‘セミのとりこ’になってしまいます。春先は地面に顔をむけてダンゴ虫一色でしたが、今は顔を上にむけセミ一色です。



おいしいカレーができたよ！ (ばら組おとまり会)

先月の15, 16日、ばら組さんのおとまり会がありました。年長になり「なんでも自分たちでできる」という意気込みを発揮してもらおう行事です。初めて“親と離れて泊まる”という子もいたと思いますが、何日も前から担任と仲間と計画してきたおとまり会で、「自分のことは自分でしなければ」と心に決め、当日を迎えているようでした。タイムスケジュールを確認しながら進んでいきます。カレーライス作り、ゲーム大会、すいかわり、キャンプファイヤー！そして就寝。仲間と一泊できたことで「自信」がつき更にたくましさが増したばら組さんでした。



どろんこあそび！

水と砂を思う存分使ったのどろんこあそび。‘服の汚れを気にせず思いっきりあそんじゃえ！’ 子どもたちはいつも以上に友だちとの交流が深まり、お互いに意見を出し合いおもしろい遊びを作り出していました。担任も子どもたちに負けない位どろんこまみれになり、遊びを共有しているようでした。よごれることに抵抗がる子も、少しずつでもこの遊びの解放感を味わってもらえればと思います。どろんこ遊びでは解放感を味わうとともに、創造性も刺激されます。砂でダムを作りそこへ水を流す楽しさ、そしてさらに水が勢いよく流れるように試行錯誤が始まります。「砂に水がしみこまないようにするにはどうしたらいいのか？」さまざまなおもちゃを使い解決していきます。



大人には‘?’な子どもの行動にもワケがあります

舐めることで「ものを認知」しています。

ハイハイができるようになると、いろいろな所に移動できるので、好奇心も旺盛になります。見る物すべてが赤ちゃんにとっては新鮮でこれはなんだろう？と手に取って、真っ先に口に持って行きます。なぜなら、この時期の赤ちゃんにとって、口の中が一番大事な認知機能だからです。舌で舐めてザラザラした感触や冷たさ、温かさなど物を認知します。赤ちゃんは、舐めて確かめないと気がすまないのです。

舐めまわすことを十分にさせてあげましょう

子ども本来の好奇心や探索心を育てるためにも、「見て、さわって、舐める」という行為を十分にさせてあげましょう。これはやがて、自分でつかんで口へ持っていき、食べることへの喜びにもつながっていきます。舐めることで、感覚機能も知能も育つのです。大人が配慮することは、誤飲事故を招くような、小さなボタンやクリップ、電池等危ない物などは、手の届くところには置かないようにすることです。

今井和子著「0才児から5才児行動の意味とその対応」

「眠りは脳と心の栄養」 “睡眠不足はどうしていけないの？”

●疲れやすくなり、食欲や集中力が低下します。

眠っている間に、体は1日の疲れを修復しています。

●朝食を食べなくなってしまう。

起きる時間がギリギリで食べられない…、眠い…、食欲がわかない…。

●感情コントロールが困難になります。

イライラしたり…昼間ボーッとしたり…。

●心身の成長を妨げます。

成長ホルモンは眠っている間に分泌されます。脳が成長しています。睡眠は人間にとって欠かせないとなみです。睡眠時間をしっかり確保して、活動のエネルギーにしましょう。



お知らせ

下記の職員の産休に伴い、職員体制が変更になります。

- ・すみれ組緒方保育士 8/2 より産休→前田遥保育士が担任になります。
- ・たんぼぼ組平井保育士 8/21 より産休→副島康恵保育士が担任になります。よろしくお願いします。